

西之内町地車新調実行委員会通信

西之内町新調地車

彫刻の物語背景と紹介（27）
『難波戦記』

真田丸・真田大助の初陣

（内記弓術の場）

今年の夏もようやく盛りを過ぎ

ようとしていますが、西之内町の皆様におかれましてはいよいよご健勝にてご活躍のことと存じます。日ごろはお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。

長らく新調地車の彫り物の場面をご紹介してきましたが、9月24日に入魂式を迎え、皆様にお披露目となるため、この『新調通信』も今月号をもつて最終号とさせていただきます。2年8ヶ月にわたり新調地車の製作状況や彫り物紹介をさせていただく中で、西之内町の新調地車に関心を持つていただけたと思います。



2023年
8月号
(最終号)

新調通信に関するお問い合わせ

西之内町会館

072-444-7712

ます。真田大助（真田幸昌）は、真田幸村と竹林院（大谷吉継の娘）の嫡男です。幸村の兄真田信之の嫡男である真田信吉（河内守）と大助が大坂冬の陣で出会う場面であります。

真田河内守は真田丸での合戦の中、六文銭の旗に壬の指物を翳し、舍弟内記も後に続いて手勢に下知なり。仁心により六文銭の旗の手と見るならば弓鉄砲を向けないようになると停止の命が出されております。しかし、戦場においては私の用捨は問題の外であります。一族なりとも、いざ一矢参りましょう」と、弓に矢をつがえよく引いてひようと放つと矢は兜の緒を断ち、兜は大地に転げ落ちました。これを見て敵も味方も一同にあつと驚き、賛嘆の声暫くは止みませんでした。その時、河内守の舍弟内記が陣頭に進み出て「これは河内守の舍弟内記と申す者。大助殿の弓勢の程驚嘆致しました。されば初対面の見参に、それがしもいささか手練の程をお見せ申しましよう」と、強弓に鷺の羽の矢をつがえ満月の如く引きかため、切って放てば過

し柵のなかに突入しました。これを見た真田大助は矢倉の上から大音声に呼ばわつて「そこにいるのを受け致します。かく申すのは、同じ一族信州上田の城主真田安房守の二男左衛門佐幸村の一子大助幸昌と申す者。この度、秀頼公の御

車の見送り中央に配置しております。他には無い場面ですのでお披露目の際には是非ご覧ください。

たず、大助の兜の吹返しの緒を見事に射切つたのでした。

大助と内記の弓術の場は新調地車の見送り中央に配置しております。他には無い場面ですのでお披露目の際には是非ご覧ください。

新調地車の彫り物

および本体組立進捗報告

8月に入り、木彫山本さんでは総仕上げの作業で武者の武具や甲冑の前立てなどの後付け部材の製作を行っております。また植山工務店さんでは大屋根と小屋根の組立に取り掛かっております。先代地車の姿見を踏襲した新調地車としての形が徐々に現れてきており、一目で西之内町の地車とわかるのではないかと思われます。随所にこだわり思いの詰まつた新調地車をお見せできる日を、一日千秋の思いで進めてまいりました。備品の制作が途中のものもありますが、各委員も最後まで頑張ります。最後の最後まで応援とご支援のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。

真田大助の初陣の場面をご紹介し

真田大助幸昌（肖像画）

新調委員の独り言

ようやく新調地車の完成が秒読み段階に入りました。昔「木登りの名人」と呼ばれる人がいました。その名人が自分の弟子に高い木に

登らせて木の枝を切らさせていたときのことです。その弟子がとても高くて危ない場所で木の枝を切っているとき、その名人は何も言わずに黙つて見ているだけでした。

しかし、弟子が枝を切り終わって高い場所から低い場所まで降りてきたとき、その名人は初めて「気を付けて降りなさい」と声をかけたのです。不思議に思った弟子は「あれくらいの高さになつたら飛び降りることだつてできますよ。なんでここまで安全な場所に降りてから、そんなことをいうのですか。」と聞いたところ、その名人はこう答えました。「失敗は、もう大丈夫だと思ったときに必ずしてしまいます。」最後まで気を抜いてはいけないという事と、その次の事を考へなさいと言うことを教えてくれる「高名（こうみょう）の木登り」という話です。

地車の完成、そして入魂式まであとわずか。最後まで気を抜かず、入魂式のその次には試験曳き、本祭りも控えております。一生に一度、悔いの残らないようご協力をよろしくお願いいたします。

◆財務部からのお知らせ

「新調寄付金について」

締切期日を延長し、引き続き新調のご寄付（任意）を受け付けております。

◆総務部からのお知らせ 「今後のスケジュール」

九月上旬

- ・令和五年南掃守地区祭禮年番冊子
- ・入魂式プラうちわ
- ・新調通信特別号



8月12日現在 組立状況

西之内町第四代地車新調入魂式 九月二十四日（日）

午前四時半～ 入魂式
午前六時～ 御披露目曳行
午前九時～ 記念式典

「仮芳名板について」

西之内町会館敷地入口横の「新調寄付芳名板（仮）」の寄付者掲示方法が変わりました。

◆記念誌製作部からのお知らせ 「入魂式記念冊子」

新調彫物解説や町の歴史、先代地車の写真、寄付者一覧を掲載した記念冊子を、入魂式当日に発行いたします。こちらも町会隣組の皆様にお配りできるよう進めております。新調地車の写真を掲載した『記念誌』（令和6年発行予定）とは異なります。【新